

「金庾信（きんゆしん）」は、中臣鎌足の元版である。

鎌足の原版は「金庾信」であった証拠をあげます。以前発表（C）したものをさらに焦点をあてました。金春秋の生年は不明ですが、602年とも612年とも定かではありません。ただ、日本側の人物は生年の証拠はありません。ここにあげた資料は、一部に過ぎません。詳しくは、HP [源ヨーロッパ部族の極東到達](#) で

| 三國史記 金庾信傳(原文から) | 日本書紀卷 27 (天智紀) | 創作ポイント |
|---|---|--|
| B)673 年(文武王の時代) 私邸の表御殿で薨*去した。享年 79 歳 (ゆ信の邸宅で死去した。79 歳であった。) | A)669 年 藤原内大臣が薨じた《日本世記*曰く、内大臣春秋、年五十で私第に薨じた》 (藤原内大臣が死去した。日本世記には、私第に死んだ。とある。 内大臣春秋五十薨于私第 | 私邸と私第 漢音・テイ 金ゆ信列伝の記録は意味が通じるが、日本書紀は通じない。 |
| *薨去 律令制で、皇族または三位以上の貴族の死去をいう語 | *高麗から帰化した高僧釈道頭の書 鎌足は内大臣と呼ばれていたが669年に大織冠を得、藤原姓を賜り、その後自ら藤原内大臣と名乗ったとある。 | 疑問点 私邸を私第と書き替えた訳は。 碑曰。春秋五十有六而薨 日本世記の56歳なら614年生まれ。 |
| 「金庾信」と「金春秋」の出会い、ゆ信の家の近くで庾蹴鞠を画策した「春秋との」の出会いの年は、未確認。金法敏(文武王)の生まれ年も不明なようです。若い春秋を補佐した「ゆ信」。そのペアと日本書紀の『鎌足と中大兄』のそれは似ている。 | | |

A) 日本書紀 卷第二十七 天命開別天皇 天智天皇

《天智天皇八年（六六九）十月【十】》◆冬十月丙午朔乙卯。天皇幸藤原内大臣家。親問所患。而憂悴極甚。乃詔曰。天道輔仁、何乃虚説。積善余慶、猶は無徴。若有所須。便可以聞。対曰。臣既不敏。当復何言。但其葬事、宜用輕易。生則無務於軍国。死則何敢重難。云々。時賢聞而歎曰。此之一言。窃比於往哲之善言矣。大樹將軍之辞賞。＝〔言＋巨〕可同年而語哉。

十月【十五】》◆庚申。天皇遣東宮大皇弟於藤原内大臣家。授大織冠与大臣位。仍賜姓為藤原氏。自此以後。通曰藤原内大臣。

十月【十六】》◆辛酉。藤原内大臣薨。《日本世記曰。内大臣春秋五十薨于私第。廼殯於山南。天何不淑。不憖遺耆。嗚呼哀哉。碑曰。春秋五十有六而薨。》

《天智天皇八年（六六九）十月甲子【十九】》◆甲子。天皇幸藤原内大臣家。参考文献

B) 三國史記 卷第四十一 列傳 第一 金庾信 上(原文)

咸寧四年癸酉 是文武大王十三年 春 妖星見 地震 大王憂之 庾信進曰 今之變異 厄在老臣 非國家之災也 王請勿憂 大王曰 若此則寡人所甚憂也 命有司祈禳之 夏六月 人或見戎服持兵器數十人 自庾信宅泣而去 俄而不見 庾信聞之曰 此必陰兵護我者 見我福盡 是以去吾其死矣 後旬有餘日 寢疾 大王親臨慰問 庾信曰 臣願竭股肱之力 以奉元首 而犬馬之疾至此 今日之後 不復再見龍顏矣 大王泣曰 寡人之有卿 如魚有水 若有不可諱 其如人民何

其如社稷何 庾信對曰 臣愚不肖 豈能有益於國家 所幸者 明上用之不疑 任之勿貳 故得攀
附王明 成尺寸功 三韓爲一家 百姓無二心 雖未至太平 亦可謂小康 臣觀自古繼體之君 靡
不有初 鮮克有終 累世功績 一朝隳廢 甚可痛也 伏願殿下知成功之不易 念守成之亦難 疏
遠小人 親近君子 使朝廷和於上 民物安於下 禍亂不作 基業無窮 則臣死且無憾 王泣而受
之 至秋七月一日 薨于私第之正寢 享年七十有九 大王聞訃震慟 贈賻彩帛一千匹・租二千石
以供喪事 給軍樂鼓吹一百人 出葬于金山原 命有司立碑 以紀功名 又定入民戶 以守墓焉
妻智炤夫人 太宗大王第三女也 生子五人 長曰三光伊飡 次元述蘇判 次元貞海干 次長耳大
阿飡 次元望大阿飡 女子四人 又庶子軍勝阿飡 失其母姓氏 後智炤夫人 落髮衣褐 爲比丘
尼 時大王謂夫人曰 今中外平安 君臣高枕而無憂者 是太大角干之賜也 惟夫人宜其室家 儆
誠相成 陰功茂焉 寡人欲報之德 未嘗一日忘于心 其餽南城租每年一千石 (リンクC)

- ① 天智天皇紀も金ゆ信・金春秋と金法敏の記事がベースにあり。鎌足をねつ造した証拠【新解・日本書紀読解(.6)】 [2010/12/29\(水\) 午後 5:15](http://blogs.yahoo.co.jp/manase8775/42713465.html) <http://blogs.yahoo.co.jp/manase8775/42713465.html>
②大化の改新はなかった(7)中大兄と鎌足の乙巳の変は、金ゆ信の記録を基に【新解・日本書紀読解(.7)】[2011/1/3\(月\) 午後 9:52](http://blogs.yahoo.co.jp/manase8775/42740882.html) <http://blogs.yahoo.co.jp/manase8775/42740882.html>

② HP 記事7 [天智記も金ゆ信・金春秋と金法敏の記事がベースにあり。の証拠](http://www001.upp.so-net.ne.jp/dassai/sitemap/sitemap.htm#map_3gokushiki)
古代史癡祭 http://www001.upp.so-net.ne.jp/dassai/sitemap/sitemap.htm#map_3gokushiki
日本書紀(朝日新聞社本) <http://www.j-texts.com/sheet/shoki.html>
以上引用しました。

執筆 阿部 学 北海道在住